

市民アンケート調査結果

新しいまちづくりの指針となる「本宮市第2次総合計画後期基本計画」を策定するにあたり、これまでの取組の検証を行うとともに、市の現状と課題を整理・分析し、施策の方向性について議論・検討を行うための基礎的資料を取りまとめることを目的として、市民の皆様へのアンケート調査を実施しました。以下に、その結果を抜粋して掲載します。

●調査対象

市民意識調査：本宮市在住の満 18 歳以上 2,000 人
 中学生調査：本宮市内の中学3年生 279 人
 高校生調査：本宮市在住の高校3年生相当の年齢の方 314 人

●調査方法

市民意識・高校生調査は郵送配布・回収（インターネット回答を併用）、中学生調査は学校配布・回収

●調査期間

市民意識・高校生調査は令和4年8月4日～令和4年8月24日
 中学生調査は令和4年8月19日～令和4年9月16日

●有効回答数（率）

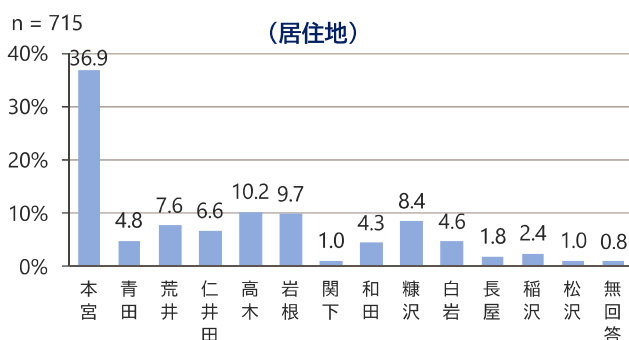
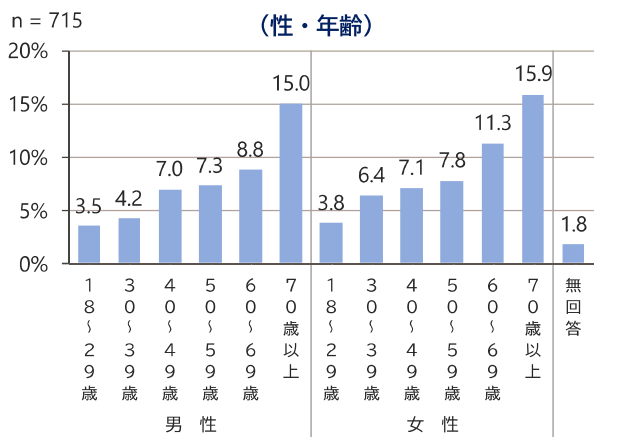
市民意識調査：715 人（35.8%） 中学生調査：261 人（93.5%） 高校生調査：94 人（29.9%）

●調査結果の見方

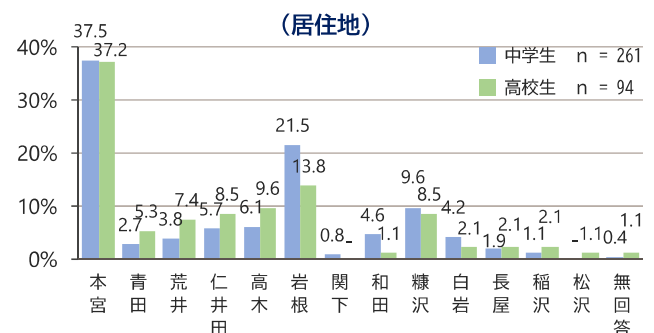
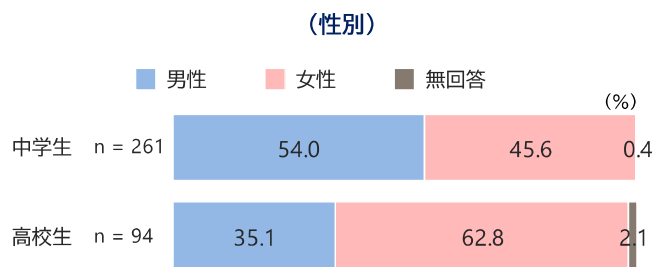
- ・ n と表記がある数値は、回答割合（%）算出の基数（調査数）である
- ・ 回答割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が 100.0%にならない場合がある
- ・ 視認性を考慮し、一部のグラフにおいて回答割合が少数（2%未満）の数値を非掲載としている
- ・ 一部のグラフにおいて、選択肢の語句等を調査時の表記から簡略化等している場合がある

●回答者の属性

市民（18歳以上）

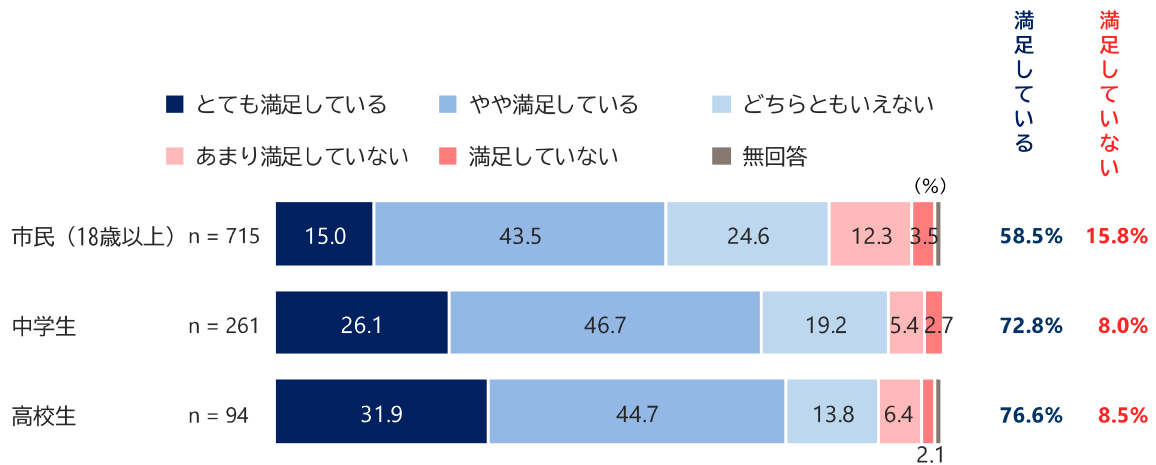


中学生・高校生



1 日常生活の満足度

- ▶ 市民（18歳以上）では、「とても／やや満足している」が合わせて約6割
- ▶ 一方、中学生・高校生では7割超であり、学生の方が満足度が高い

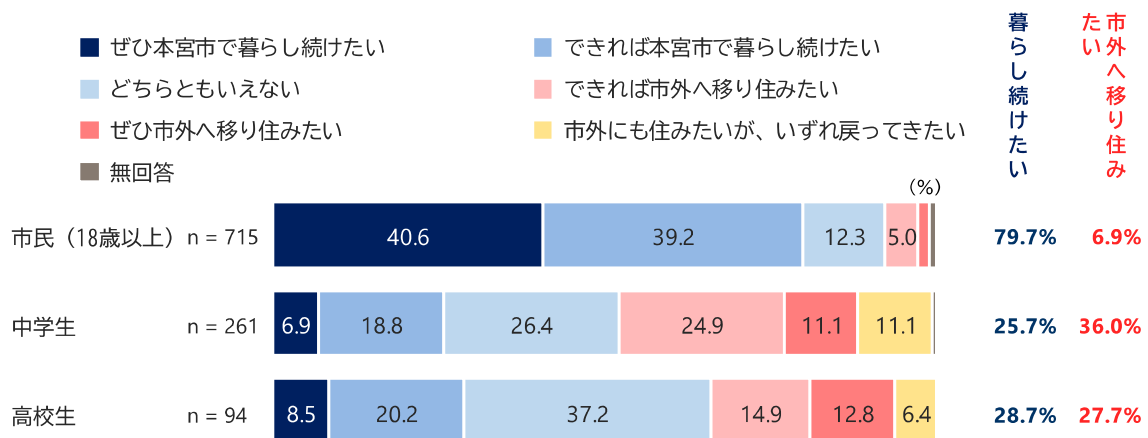


※グラフ右の数値は、類似した2つの項目の回答割合の合算値（以降のグラフも同じ）
 （例）満足している：「とても満足している」＋「やや満足している」の合算値
 なお、四捨五入の関係で、合算値が個別の項目の回答割合の単純な足し上げ値と一致しない場合がある

2 今後の居留意向

（1）本宮市での居留意向

- ▶ 市民（18歳以上）では「ぜひ／できれば本宮市で暮らし続けたい」が合わせて約8割
- ▶ 一方、中学生・高校生では3割を下回り、中学生では「ぜひ／できれば市外へ移り住みたい」が合わせて3割台半ばと高い



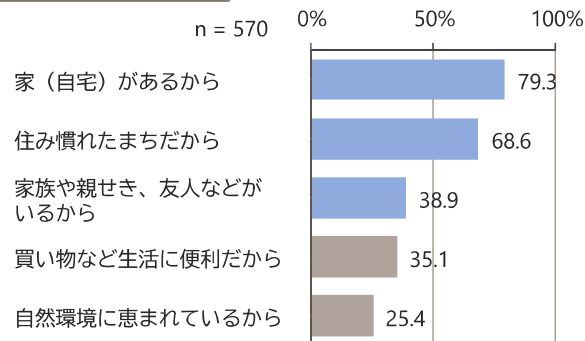
※「市外にも住みたいが、いずれ戻ってきたい」は中学生・高校生調査のみで聴取

(2) 本宮市で暮らし続けたい理由 【複数回答可】

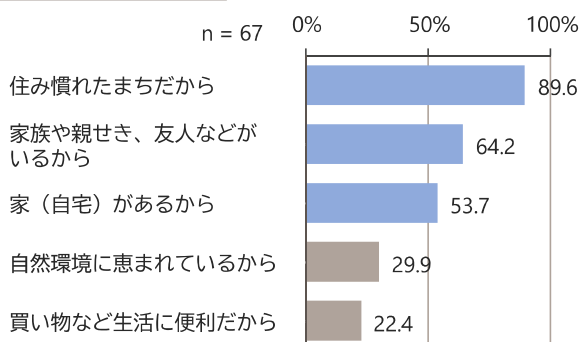
- ▶ 市民（18歳以上）・中学生・高校生いずれも、「家（自宅）があるから」「住み慣れたまちだから」「家族や親せき、友人などがいるから」「自然環境に恵まれているから」などが上位

※回答数上位5項目を抜粋して掲載

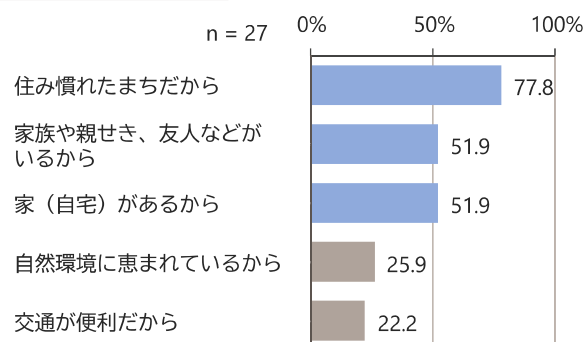
市民（18歳以上）



中学生



高校生

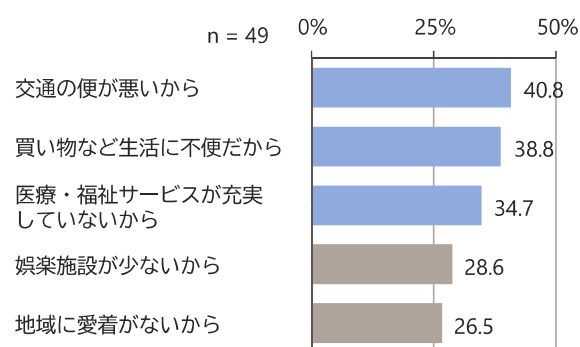


(3) 市外へ移り住みたい理由 【複数回答可】

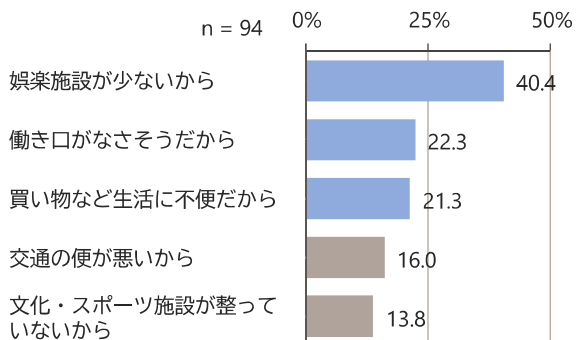
- ▶ 市民（18歳以上）では「交通の便が悪いから」「買い物など生活に不便だから」「医療・福祉サービスが充実していないから」が上位
- ▶ 中学生・高校生ではいずれも「娯楽施設が少ないから」がトップで、4割超が回答

※回答数上位5項目を抜粋して掲載

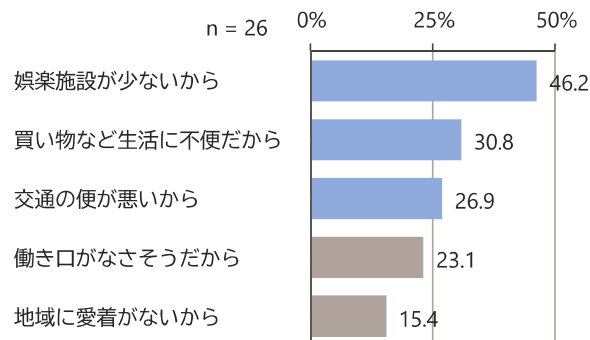
市民（18歳以上）



中学生



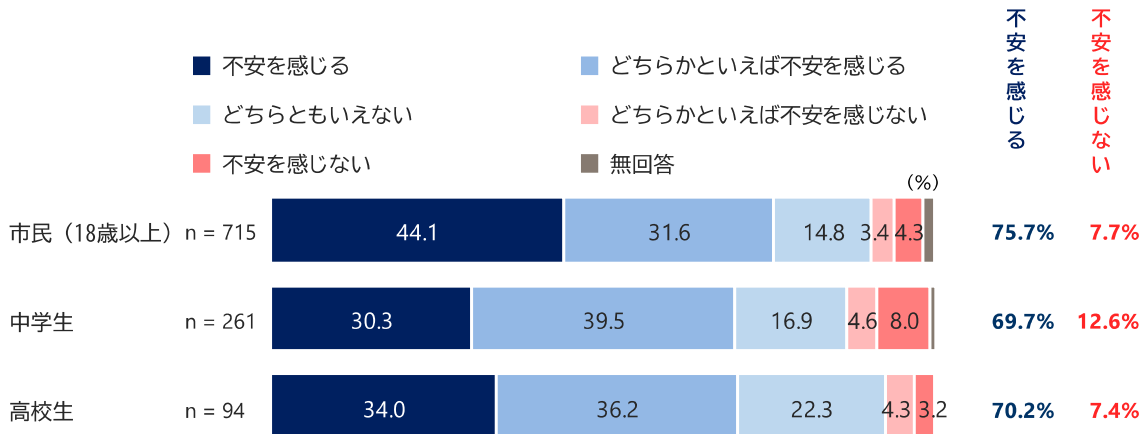
高校生



3 人口減少への不安

(1) 人口減少の進行により将来に不安を感じるか

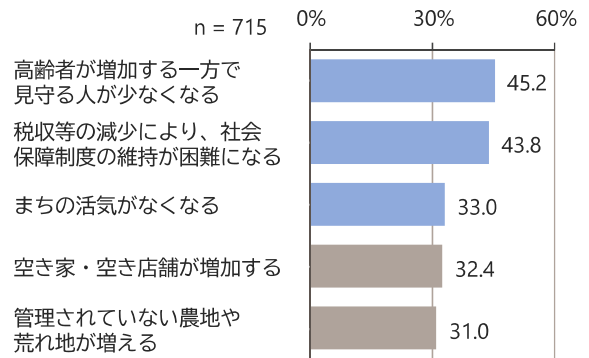
▶ 市民（18歳以上）・中学生・高校生のいずれも、「不安を感じる」と「どちらかといえば不安を感じる」が合わせて7割前後と高く、年代にかかわらず人口減少に不安を感じる人が多い



(2) 人口減少の加速による影響で特に深刻なもの 【複数回答可】

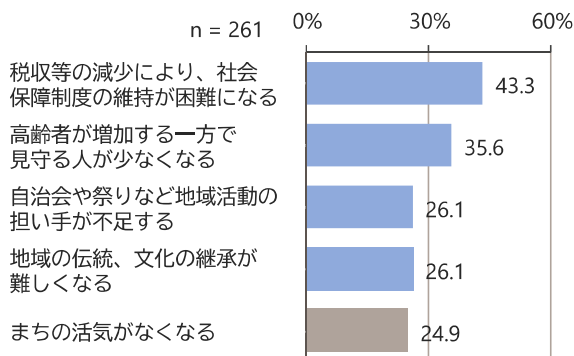
▶ 市民（18歳以上）・中学生・高校生のいずれも、「高齢者が増加する一方で見守る人が少なくなる」「税金等の減少により、社会保障制度の維持が困難になる」が上位

市民（18歳以上）

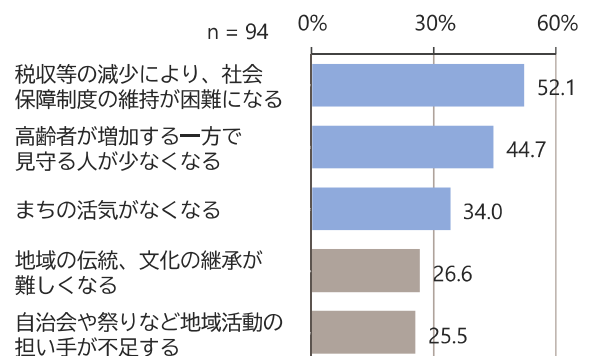


※回答数上位5項目を抜粋して掲載

中学生



高校生



4

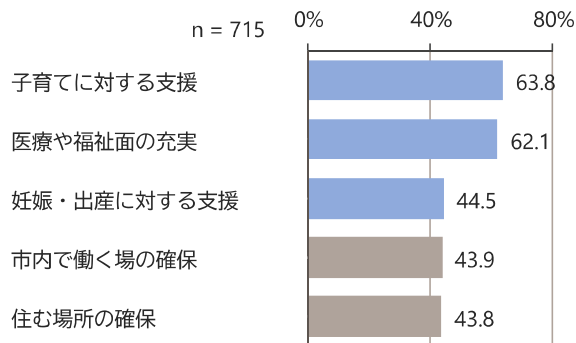
若い世代の定住や市外からの移住者増加に向けて重要なこと

【複数回答可】

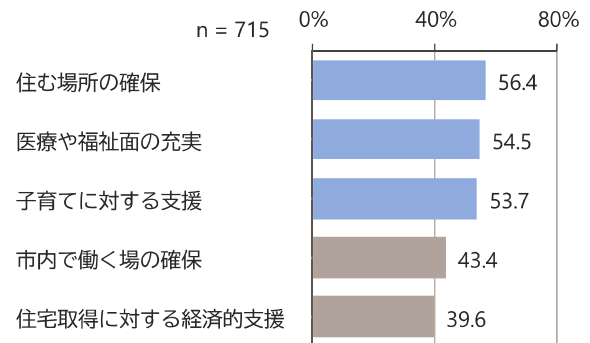
- ▶ 市民（18歳以上）・中学生・高校生のいずれも、「子育てに対する支援」が上位
- ▶ このほか、市民（18歳以上）では「医療や福祉面の充実」「市内で働く場の確保」「住む場所の確保」などが上位、中学生・高校生では「観光・交流の充実」「公共交通機関の充実」「教育の充実」などが上位

市民（18歳以上）

（若い世代の定住に向けて重要なこと）

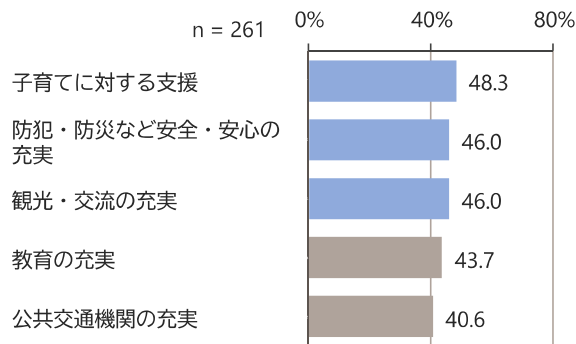


（市外からの移住者増加に向けて重要なこと）

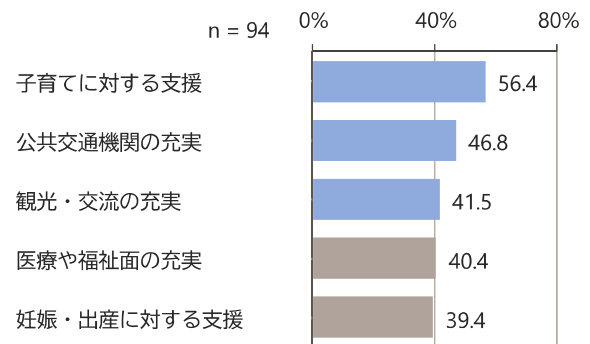


中学生

（若い世代の定住や市外からの移住者増加に向けて重要なこと）



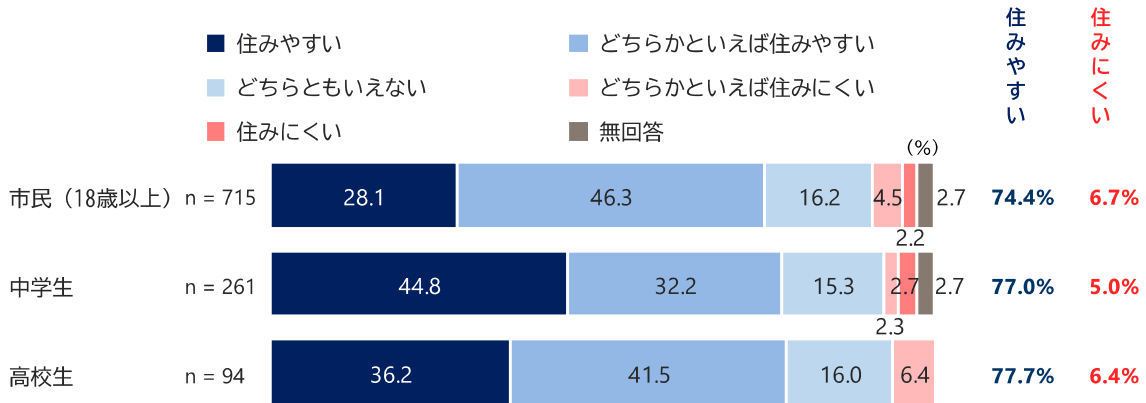
高校生



※回答数上位5項目を抜粋して掲載

5 本宮市の住みやすさ

- ▶ 市民（18歳以上）・中学生・高校生のいずれも、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」が合わせて7割以上と高く、年代にかかわらず本宮市を住みやすいと感じる人が多い

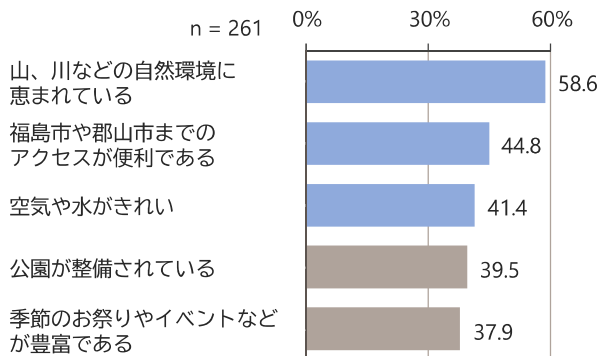


6 本宮市の魅力

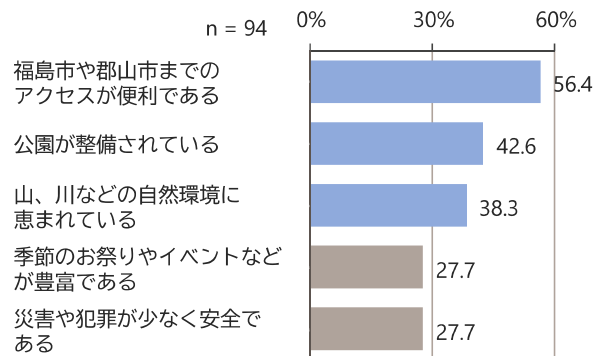
【複数回答可】

- ▶ 中学生・高校生ともに「山、川などの自然環境に恵まれている」「福島市や郡山市までのアクセスが便利である」「公園が整備されている」「季節のお祭りやイベントなどが豊富である」などが上位
- ▶ このほか、中学生では「空気や水がきれい」(41.4%)が3位に位置している

中学生



高校生



※本設問は、中学生・高校生にのみ聴取

※回答数上位5項目を抜粋して掲載

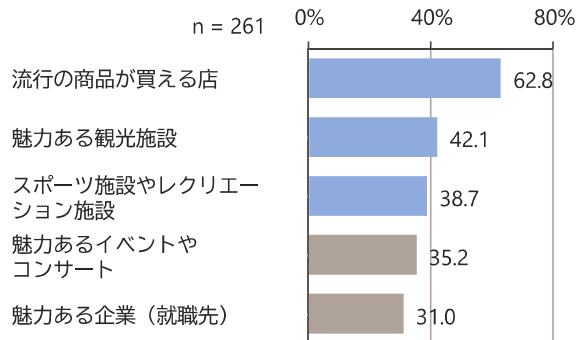
7

現在の本宮市に不足していて必要なもの

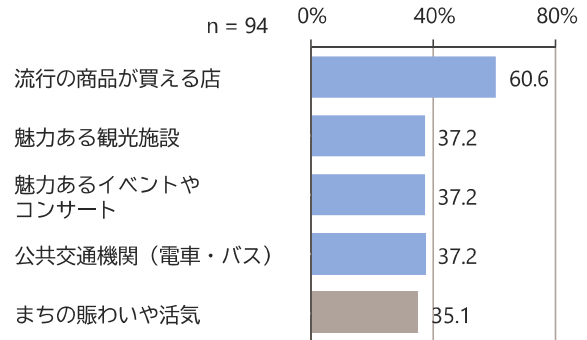
【複数回答可】

- ▶ 中学生・高校生ともに「流行の商品が買える店」が6割以上とトップ
- ▶ このほか、中学生・高校生に共通して「魅力ある観光施設」「魅力あるイベントやコンサート」が上位となっている

中学生



高校生



※本設問は、中学生・高校生にのみ聴取

※回答数上位5項目を抜粋して掲載

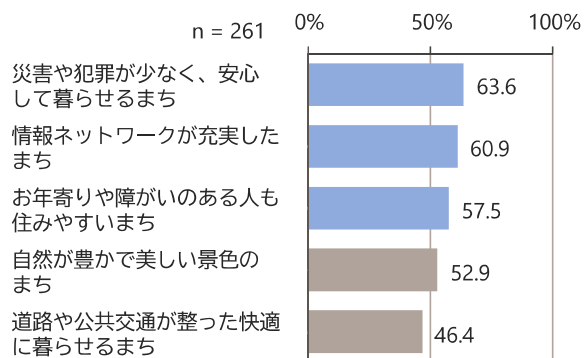
8

将来、本宮市がどんなまちになれば良いか

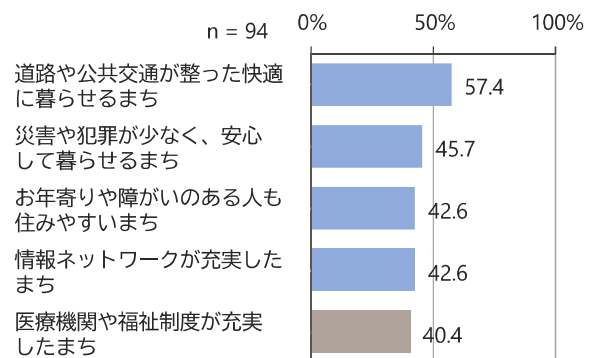
【複数回答可】

- ▶ 中学生では「災害や犯罪が少なく、安心して暮らせるまち」が、高校生では「道路や公共交通が整った快適に暮らせるまち」がトップ
- ▶ このほか、中学生・高校生に共通して「情報ネットワークが充実したまち」「お年寄りや障がいのある人も住みやすいまち」などが上位となっている

中学生



高校生



※本設問は、中学生・高校生にのみ聴取

※回答数上位5項目を抜粋して掲載